



西米良村立村所小学校
校長 小林 博典 先生

村所小学校の教育

主体的に学び合う児童の育成を目指して

対話的な学びの追求

西米良村内の学校は1小1中のへき地校であり、村内に高校もないので、子供たちは中学校を卒業すると村外での自立した生活を求められることになりました。そのため、自立する上で、新たに出会うたくさんの人たちとのコミュニケーション力をスキルとして磨いていく必要があります。今年度の研究テーマには「対話的な学びの工夫」が掲げられていますが、教員は、タブレット等のツールを積極的に用いながら授業改善を図り、対話の活性化を促進するように努めています。このような創意工夫によって、コミュニケーション力など将来に向けた大事なスキルとともに、確かな学力を身に付けさせようと奮闘中です。

「気軽に授業を見せ合いまSHOW!!!」

対話的な学びを工夫した授業を行うために、教員相互に切磋琢磨して新しい指導にチャレンジしています。研究の一環として、教員同士がお互いの授業を見せ合う「気軽に授業を見せ合いまSHOW!!!」という取組を研究主任が提案し、実践しました。研究に即したいいくつかのルールは決めるけれども、自由に参観し合い、気軽に感想や意見を出し合うというものです。授業後、職員室ではタブレットの効果的な活用方法を、談笑の中で伝授し合う姿も見られました。

笑顔が絶えない職員室

今年も職員室は、温かく居心地のよい雰囲気になっています。これは、研究主任がムードメーカーとなってくれているおかげでもありなす。「気軽に授業を見せ合いまSHOW!!!」の発想からも御理解いただけるのではないのでしょうか。互いを高め合うためのしかけにより、楽しみながらユーモラスに導いてくれる。研究を推進するための慌ただしさはあっても、タブレットの操作方法がわからない、効果的なツールの活用となっていないか疑問がある、といった困り感が自由に出せる、笑顔いっぱい教員相互が学び合う職員室は私の理想だと思っています。

eライブラリの活用効果

対話的な学びの場面を増やすことは大切ですが、基礎基本の学力が身につけていなければ、目的に応じた対話はできません。そのため、宿題の出し方も検討しました。

これまでは、学校に登校したらタブレットを職員室の保管庫に取りに来て、朝学習をしていました。しかし、タブレットを持ち帰って学習させた方が効果があるのではないかと思い、持ち帰り学習（ダウンロード学習）を始めました。持ち帰り学習を始めてから、一番変わったのは、児童同士が、登校後に昨日の宿題に関する話題を話している姿が見られるなど、コミュニケーションが増え

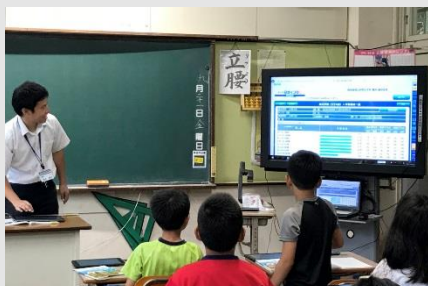
たことです。一般に、ICTを使うとコミュニケーションがなくなるようになってしまおうという不安が聞かれますが、eライブラリを使って学習することでコミュニケーションが増え、紙の宿題より意欲的に取り組むようになりました。

eライブラリは、「確かな学力」という成果を出すために、児童の習熟度に応じて指導方法を変えられるところが良いと思います。児童の得意分野を伸ばしたり、つまづいている部分の個別指導ができたり、利用場面がたくさんあります。教員は、クラスや児童個人の習熟度に応じて、試行錯誤しながらeライブラリを利用しています。

西米良の魅力と伝統文化

西米良村には、小中学校9年間を見通した系統性・一貫性のある目標と内容に基づいた、『ふるさと西米良学』があります。具体的には、西米良村の「自然・環境 産業・生活、歴史・伝統」について、地域と連携・協働して取り組む教育活動です。西米良村には、神楽や語り部などの伝統文化があり、すべてが教材資源になります。西米良村の魅力でもあるこれらの伝統文化を生かした「不易」としての教育活動は、授業改善によって生み出された新たな指導方法によって、より一層光り輝くものとなり、「西米良ならではの教育」の発展につながっていくと考えています。

ICTを活用した授業



ドリルの成績を確認して、つまずきを全員で復習する。



授業支援ソフトに考えを書き込み、グループで共有する。



ドリルで既習事項のふりかえりをする。



小学4年 算数

単元名 2けたでわるわり算の筆算

【本時の目標】

仮商に修正が必要な筆算の仕方を理解する

タブレット

電子黒板

eライブラリ

SKYMENU Class

デジタル教科書

学習活動

- 家庭学習での取り組みの様子を確認する【写真1】

- 本時の問題を確認する

【問題】 $252 \div 36$

今までの問題との違いを認識させる。

今までは仮商を立てたらすぐにそれが答えとなったが、

今回は商を修正しないといけないということに気付かせる。

- 学習課題の確認

見当をつけた商が大きすぎるときはどうすればよいのだろうか。

- 自力解決

タブレット上で自分の考えをまとめさせる。

- 全体で確認する

解き方を友達同士で確認する。【写真2】

解き方を全体で確認する。

- 練習問題に取り組む

教科書の練習問題に取り組む。

- eライブラリで復習に取り組む【写真3】

- まとめ

見当をつけた商が大きいときは、1ずつ小さくして正しい商を見つける。

授業の様子



写真1

家庭学習の学習履歴からつまづきを確認



写真2

友達同士でも解き方を確かめる



写真3

eライブラリで復習（個別指導）

児童の様子とeライブラリの良さ

子どもたちは、eライブラリで学習する時間をとても楽しみにしており、授業の前に「いつeライブラリをやるんですか」と聞いてくることもあります。また、1つの教材で幅広い範囲の学習ができるため、持ち帰り学習では、復習だけでなく予習にも利用できます。予習で初めて取り組む問題は、ヒントや解説を見ながら主体的に学習してくる姿も見られ、子どもたちの学習意欲が高まっているのがわかります。今では「朝学習」の時間でドリルを利用するようにもなりました。

帯の時間では、いろいろカード帳もよく利用しており、子どもたちは「○（覚えた!）」「×（わからない）」を使いながら集中して学習しています。教科ごとに教材も分かれているため、とても使いやすく重宝しています。



村所小学校 4年担任
黒木 雄治 先生